

プラテンローラータイミングベルト 交換手順

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-9800 シリーズ

 警告

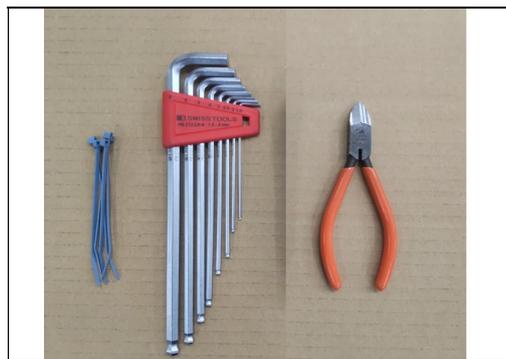
本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つよう to してください。

プラテンローラータイミングベルト交換手順

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 交換を行う前に、操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。● 印字部周辺、駆動部周辺は高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 印字部とプラテンローラーを傷付けないよう注意してください。紙送り不良や印字不良の原因となります。

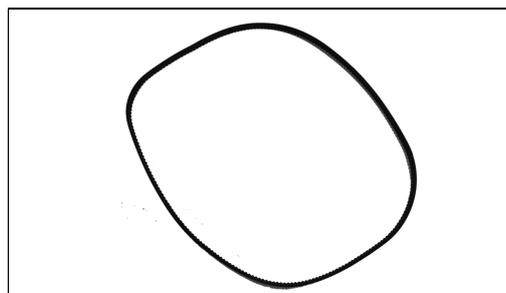
■ 作業開始前にご準備頂くもの

- 六角レンチセット
- 結束バンド
- ニッパー



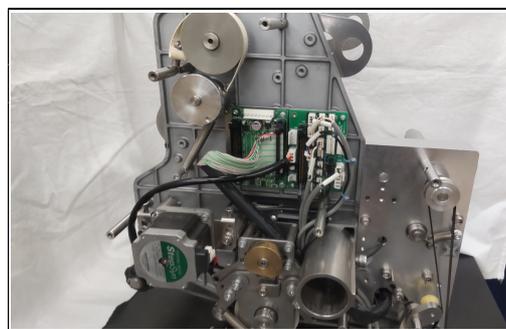
■ 今回交換する交換物

- タイミングベルト(234MXL6.4)

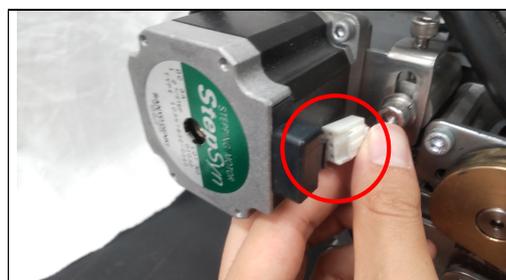


1 ラベラーとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

2 裏面のカバーを六角レンチで取り外します。

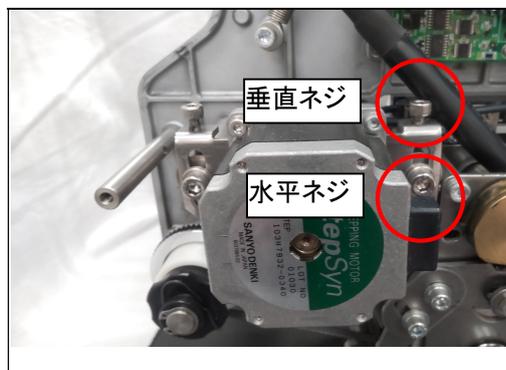


3 モーターついているコネクタを取り外します。

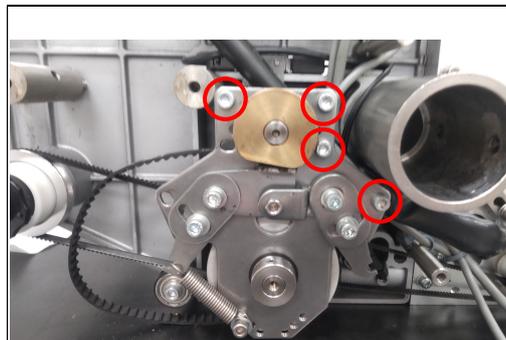


4 モーターブラケットの両脇についているネジを緩め、モーターユニットを取り外します。

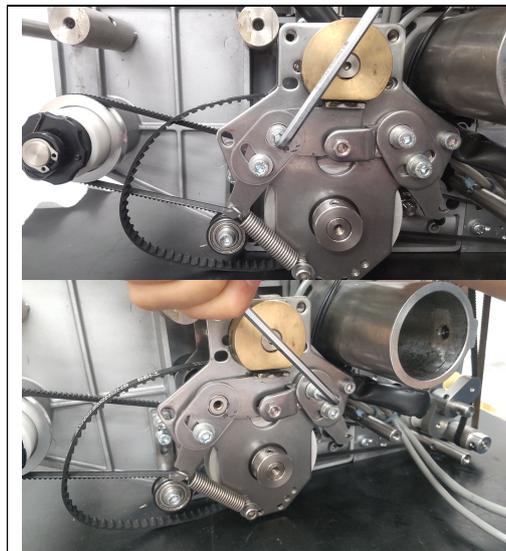
- 水平ネジと垂直ネジの 2 種類があります。
- ネジの位置関係(ネジの出シロ)を記録しておいてください。
- ネジを外した際にモーターを落とさないよう注意してください。



5 図に示されている 4 カ所のネジを取り外します。

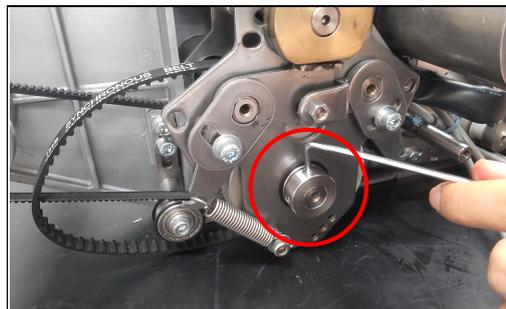


6 左右対称の部品についている上側のネジを取り外します。



7 フィードローラーを固定しているカラーを緩めます。

- カラーにはセットビスが二つ付いています。



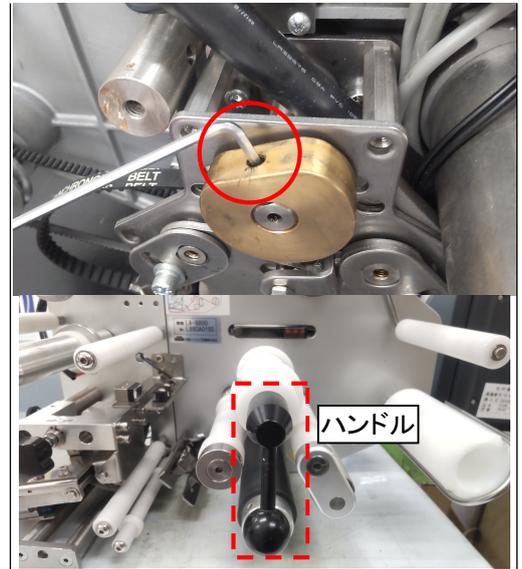
8 左下についているバネを取り外します。

- バネのフック部を変形させないように、バネの巻き部をもってフックを部品から取り外します。



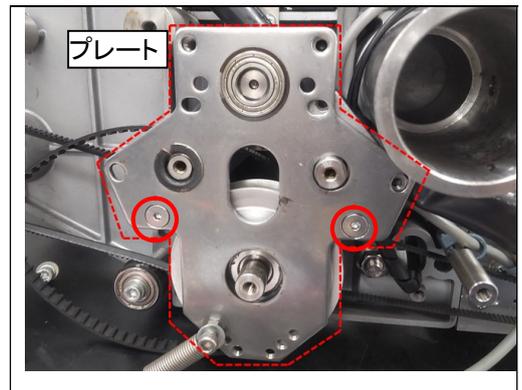
9 ユニット上部についている黄金色の部品を取り外します。

- 部品にはセットビスが一つ付いています。
- 正面のハンドルを回転させることで向きが変わるため、それを利用して取り外します。



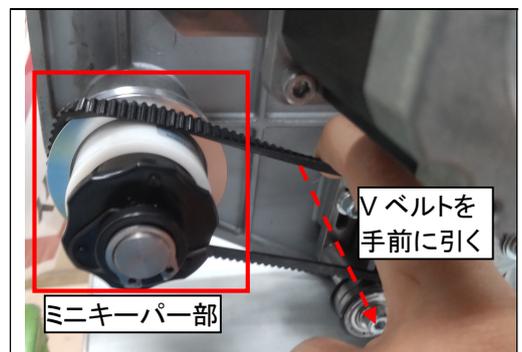
10 左右対称の部品を軸から引き抜き取り外します。

その後、図に示される2点のネジを緩めプレートを取り外します。



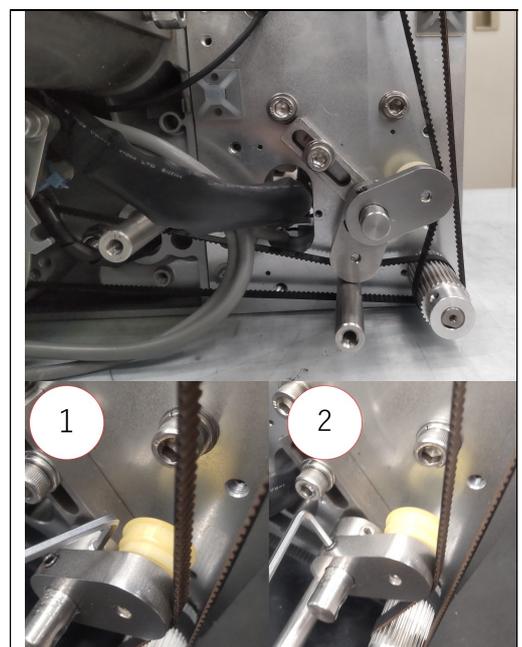
11 白色のカス巻(ラベルの台紙を巻くところ)の裏についているプーリーからカス巻とフィードローラーをつなぐVベルトを取り外します。

取り外す際にはVベルトを手前に引きながらミニキーパー部を回して取り外します。



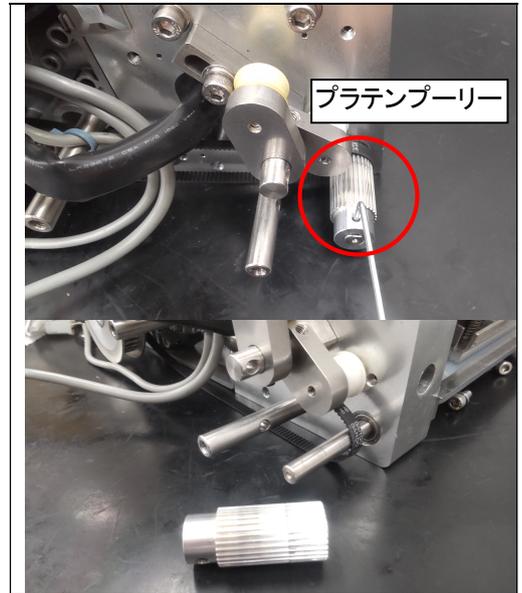
12 プラテンローラー側のテンショナーを緩め、タイミングベルトのテンションを緩めます。

- テンショナーは二つあります。元の位置関係を覚えておいてください。
- テンショナーにはそれぞれセットビスが二つ付いています。



13 プラテンローラー側についている、プラテンプーリーを取り外します。

- リボンのタイミングベルトを取り外しておきます。
- プラテンプーリーにはセットビスが二つ付いています。



14 タイミングベルトの間を通過しているケーブルの結束バンドを切ります。

- 結束バンドを切る際にケーブルを傷つけたり、切断したりしないようご注意ください。

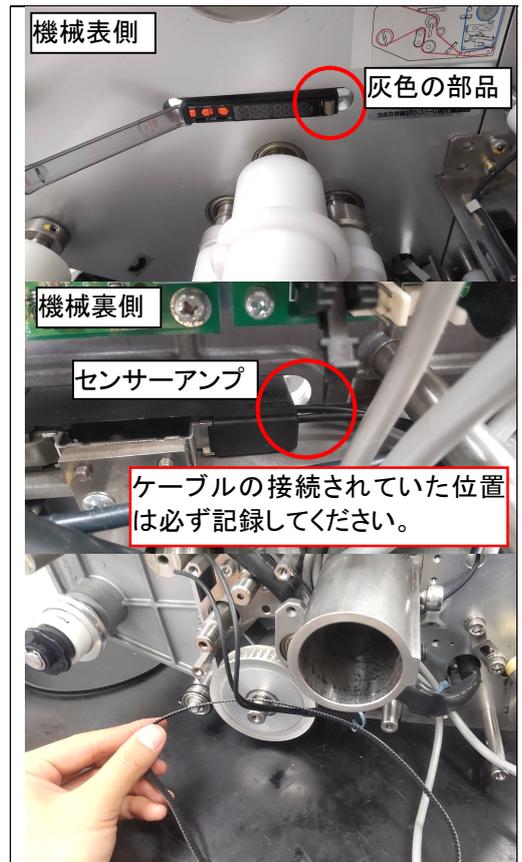


15 タイミングベルトからファイバーケーブルを外すため、ラベルセンサーの線を一度取り外します。

ファイバーケーブルを取り外すためには表についている、センサーアンプの灰色の部品を引き起こします。

その後、ファイバーケーブルの線を引き抜き、センサーのケーブルをタイミングベルトから外し、タイミングベルトを交換します。

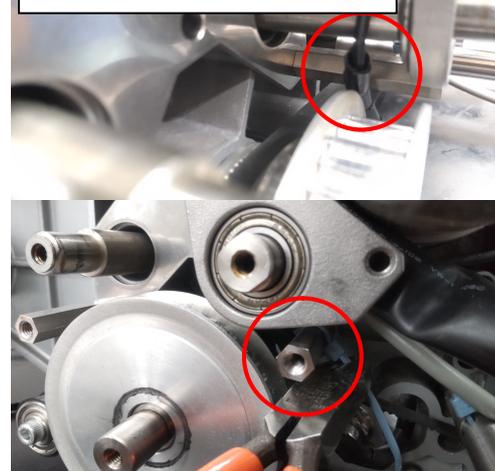
- ケーブルを取り外す際必ず、抜いたケーブルがどちらに接続されていたかを記録してください。



16 タイミングベルト交換後、センサーアンプに元のように接続し、ファイバーケーブルを結束バンドで元の位置に固定します。

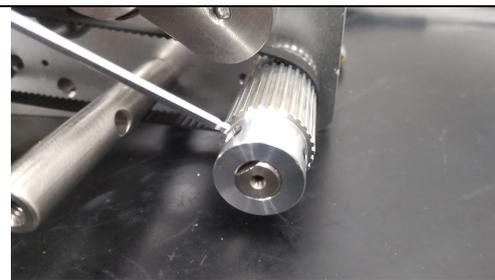
- 結束バンドを切る際に、ファイバーケーブルを傷つけたり、切断したりしないようご注意ください。

六角の柱の内側(プーリー側)を通るようにします。



17 プラテンローラーの軸にプラテンプーリーを取り付けます。

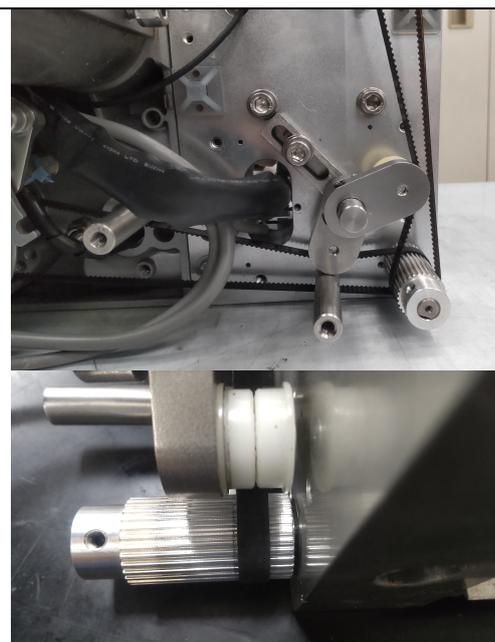
- セットビスの一つがDカット部にあたるように取り付けてください。
- プラテンプーリーは奥までしっかりと差し込みます。



18 テンショナーブロックを元の位置に固定します。

白色の部品がそれぞれのタイミングベルトを通るようにします。

- リボンのタイミングベルトも元の位置に取り付けます。



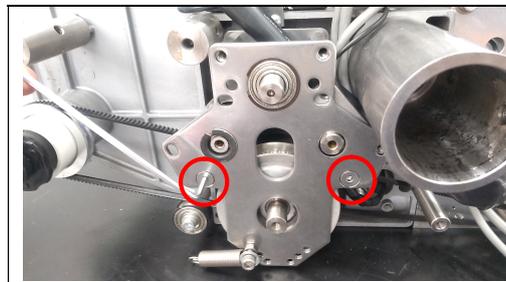
19 Vベルトを元の位置に取り付けます。

取り付ける際は、プーリーの溝にVベルトを合わせながら、ミニキーパー部を回し取り付けます。

ミニキーパー部

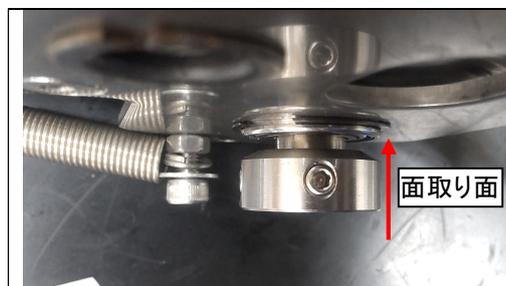


20 プレートを 2 点のネジで取り付けます。



21 プレート下中央にあるカラーを向きに気を付けながら取り付けます。

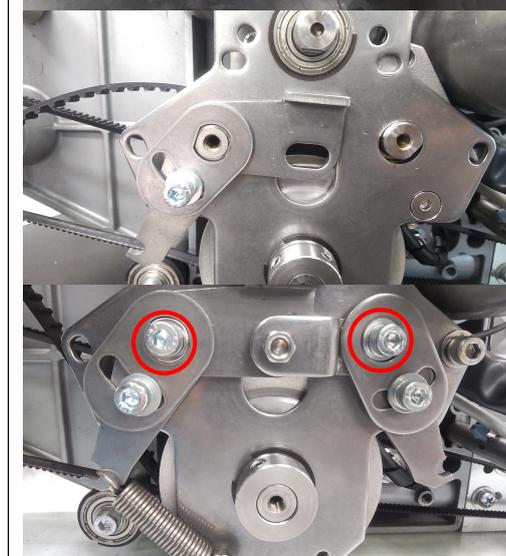
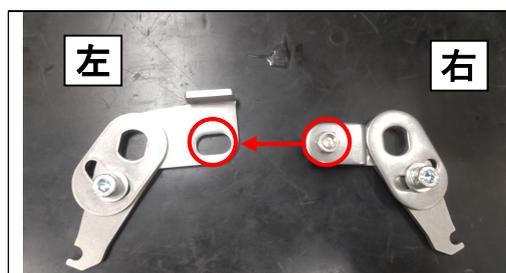
- 面取りがされている面がプレートの方に向くように取り付けます。



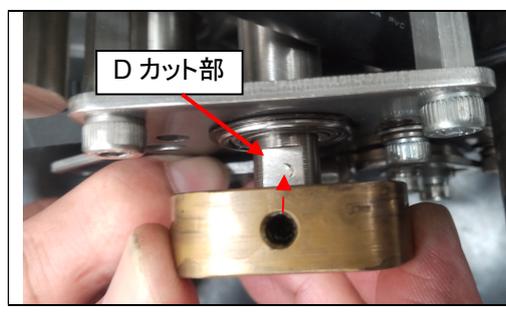
22 左右のローラーの連結プレートを取り付けます。
取り付ける際には左のプレートから取り付け、右とネジ部が左のプレートの穴にはまるように取り付けます。

合計で 2 点のネジを取り付けます。

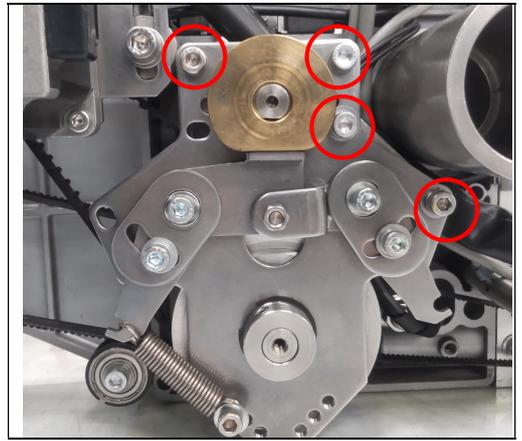
部品のネジでの固定後、バネを取り付けます。



23 黄金色の部品を取り付けます。取り付ける際には軸の D カット部にセットビスが当たるように取り付けます。



24 図の4カ所のネジで固定します。



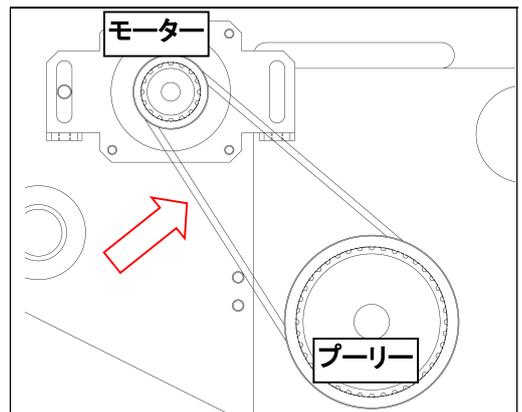
25 プーリーにベルトをかけモーターを元の位置に取り付けます。

- 水平ネジと垂直ネジを元の位置に取り付けてください。



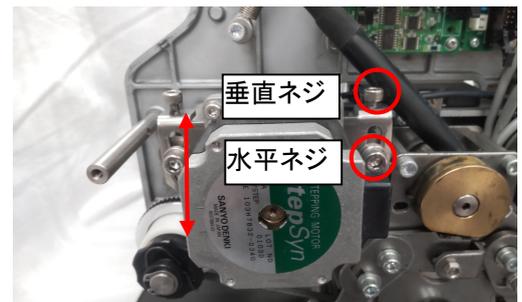
26 タイミングベルトをモーター横の垂直ネジで張り、人差し指で矢印の位置のベルトを押したとき2 [mm]程度動く貼り強さにします。

- あらかじめ緩めておいた状態からしめます。
- 垂直ネジは、ネジの出シロが左右均等になるようにします。
- 値の目安としては10 [N]で2 [mm]動く程度です。



27 モーターブラケットについている、水平方向のネジを緩め、垂直方向のねじを締めることで、モーター取付位置を移動させることでタイミングベルトのテンションを調整できます。

- テンション調整後は全てのネジをしっかりと固定します。



28 モーターにコネクタを接続します。



29 背面カバーを取り付けます。